

こんな活動です

顔の見える関係作りを！一つながりあう未来のために

大阪府門真市

活動名

門真市立第七中学校区学校支援協議会

関係する学校名

第七中学校、二島小学校、五月田小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数	0人	地域コーディネーター数	4人	ボランティア登録数	26人	学習支援	無	開始年度	20年度	国庫補助	0	ICT活用	無	企業・NPOとの連携	無
	地域未来塾	統括コーディネーター数		地域コーディネーター数		ボランティア登録数		子供の平均参加人数		開始年度		国庫補助		ICT活用		企業・NPOとの連携	
	放課後子供教室	統括コーディネーター数		地域コーディネーター数		子供の平均参加人数		年間開催日数		開始年度		国庫補助		ICT活用		企業・NPOとの連携	
		実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携											
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数		地域コーディネーター数		子供の平均参加人数		学習支援		開始年度		国庫補助		ICT活用		企業・NPOとの連携	
	コミュニティ・スクール	指定日				委員数		児童生徒数	学級数								

体制図



- 活動の概要・経緯**
- 平成20年度より活動開始。
 - 学校と連携・協働した取組や、学校やPTAから依頼があれば、それに応えられるような活動を積極的に企画、実施。
 - 成人の日に中学校で「新成人の集い」、六月下旬には小学校で「七中校区フェスティバル」を毎年継続して開催することにより、第七中学校区（五月田校区・二島校区）の二校区間の交流や、地域コミュニティへの若い世代の参加を促している。
 - 学校支援コーディネーターが放課後子供教室のコーディネーターも兼ねて運営している。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 第七中学校を卒業した新成人が母校の体育館に集まり、地域住民、教職員、保護者等で手作りの「新成人の集い」を行っている（平成26年度より。今年度で三年目）
- 毎年六月下旬に小学校で「七中校区フェスティバル」を開催。継続することで第七中学校区（五月田校区・二島校区）の二校区間の交流や、地域コミュニティへの若い世代の参加を促している。
- 「古川下り」…門真の歴史を学ぶことを目的に、田舟を修復し、古川を下って天満市場まで門真れんこんを売りに行く体験事業を学校と連携・協働して実施（平成21年度）
- 「やさい作り（ひだまり畑）」…食育の一環として小学校の一角で、学校・家庭・地域が参加した「野菜作り」を実施。収穫した野菜を調理して校区内の夏祭りの参加者に配布。（平成22年度～24年度）
- 宮城県女川町の方を迎え、「あらためて考える命の大切さ一人と人のつながり」と題した道徳教育公開講座を学校と連携・協働して実施。
- 「福島県生徒交流事業」…福島県の中学生と校区の子供たちがグループワークを行い、発表会を開催。交流会や自治会館での宿泊を通して互いの絆を深めた。

【実施に当たっての工夫】

- 学校・家庭・地域のつながりを深めていくことが重要と考え、会話や情報共有を大切に、チームとして子供たちを育む環境作りを行っている。
- 「新成人の集い」は、新成人の実行委員たちと学校支援協議会が連携・協働し、会議を重ねて準備。当日は子供たちに関わっていた小・中学校の先生、保護者、地域住民らも集まり、思い出ビデオを見たり、紅白餅をつくなどして、成人のお祝いを行う。
- 「七中校区フェスティバル」では、200名を超えるボランティア（保護者・新成人を含む地域の人々）が会場警備や模擬店を担当。
- 地域を交えた道徳教育公開講座で女川町の方々とお話したり、学校の求めに応じ、多岐に渡る活動を実施。
- 「学力を支える家庭・地域の力」をテーマにした講演会を開催する等、学校・家庭・地域がつながりを大切にした取組を進めている。

● 事業を実施しての効果・成果

学校・家庭・地域がつながることは、学校にとっても地域にとっても大切なことだと考えて取り組んでいる。小さな頃から地域の大人が子供たちを見守る環境があれば、犯罪に巻き込まれる可能性も減り、思春期を迎えた子供たちの非行防止にもつながり、子育てにおいても、人とのつながりで救われることが多々ある。それらは、落ち着いた学校生活の基盤となっている。また、成長した子供たちが人々とのつながりや地元の良さを再認識し、次代の地域（PTA、自治会等）を担うことを期待している。学校・家庭・地域の様々な人が集まり、一緒に事業を行うことで、そんな思いやつながりが徐々に広がってきている。



7中校区フェスティバル



新成人の集い